

# 下川成の

# 歯痛を治す地蔵

平成十年六月五日号

下川成に、不思議な格好をしているお地蔵さんがあります。このお地蔵さんは、歯が痛いときに「利益りやくがある」と言われています。

今回は六月四日〜十日の「歯の衛生週間」にちなみ、「歯痛を治す地蔵」を「紹介します。

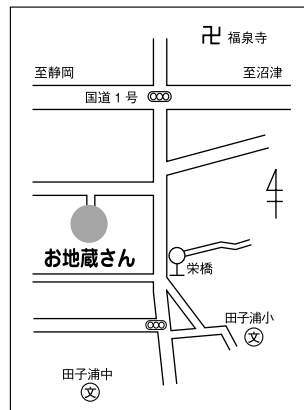
昔、昔のことです。ある夜、下川成に住むおじいさんは、不思議な夢を見ました。お地蔵さんがあらわれて、「私は田んぼのあぜ道に埋まっています。どうぞ私を掘り出してください」と言っているのです。

翌朝、

おじいさんは夢でお地蔵さんが言ったことを村人に話しま

した。そこで早速、村人たちがあぜ道を掘ってみると、本当にお地蔵さんが出てきました。お地蔵さんの首は折れ、左手は途中で欠けていました。そして右手をほおに当てる痛そうな顔をしていました。かわいそうに思った村人たちがお地蔵さんをきれいにしてあげると、痛そうな顔をしていたお地蔵さんは、とても優しい顔になりました。

ある日、歯が痛くて困っている村人が、ほおに手を当てながらあぜ道を歩いていました。ふと、お地蔵さんがほおに手を当てているの



を見て、「お地藏さんも歯が痛いのですか？」とお地藏さんのそばに寄り、お地藏さんのおをなでたり、自分のほおをなでたりしていました。すると、困っていた歯の痛みがすっかりとれてしまいました。村人は「ああ、ありがたい、ありがたい」と、手を合わせてお地藏さんに何度もお礼を言いました。



▶ 優しい表情をしているお地藏さん

それから村では、歯が痛くて困ったときにはお地藏さんのほおをなで、「早く治りますように」とお願いするようになったということです。

### 長田泰幸さん（川成島）

「歯痛を治す地藏」さんは江戸時代の初期の富士川のはんらんで流れ着いたそうです。お地藏さんの背中には文字が刻まれていて、調べてみると本当は「如意輪観音にょいりんかんのん」だったようです。また、長野県にも「歯痛の観音様」と呼ばれる観音様があり、このお地藏さんと同じように手をほおに当てているそうです。

私が子どものころは、この近所では年の暮れにだんごをお供えするなどしてお地藏さんを祭っていましたし、歯痛でお参りする人もよく見かけました。いまでもお地藏さんにおさい銭が置かれているので、きつとお参りしている人がいるんでしょうね。